

# 食の安全・安心に係る県民アンケート調査結果

和歌山県環境生活部県民局 食品・生活衛生課

## 1 調査の目的

「食」は生命の根源であり、人間の健康の維持に欠かすことのできないものです。今般、県民の皆さまが、「食」についてどのような意識をお持ちなのかを把握し、今後の施策に反映させることを目的にアンケート調査を実施しました。なお、同様の調査は3年ごとに実施しています（今回は7回目）。

## 2 調査期間

令和3年9月1日～令和3年12月31日

## 3 調査項目の概要

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| (1) 食品に対する不安の有無とその要因     | <問1><問2> |
| (2) 食品購入の基準について          | <問3>     |
| (3) 食品表示について             | <問4>     |
| (4) いわゆる健康食品に対する考え方      | <問5>     |
| (5) 鶏肉の生食に対する考え方         | <問6>     |
| (6) ノロウイルスに対する考え方        | <問7>     |
| (7) 食の安全・安心に関する情報について    | <問8><問9> |
| (8) HACCP（ハサップ）について      | <問10>    |
| (9) 食の安全・安心確保のために重要な県の取組 | <問11>    |

## 4 調査の概要

### (1) 調査対象者・調査方法・回答者数

調査対象者：日常的に食品を購入されている県民の方

調査方法：①当課ホームページ上で、アンケートに回答していただきました。  
②街頭調査、研修会等で参加者等にアンケートへの回答を依頼しました。

回答者数：749名

### (2) 調査結果の見方

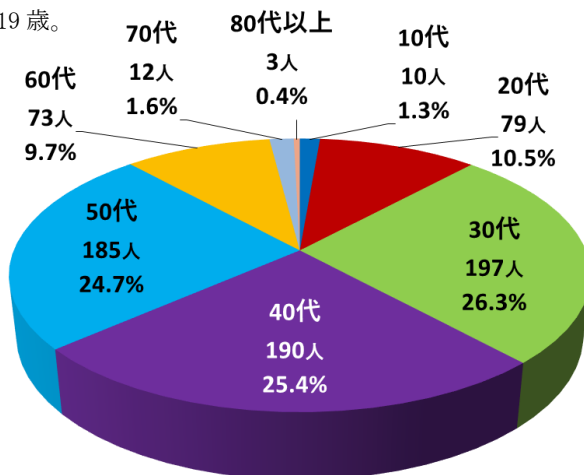
- ア. 回答の構成比（％）は小数点以下第2位を四捨五入したため、比率の合計は、100%にならないことがあります。
- イ. グラフの中で「N」とあるのは、その質問の回答者の総数（無回答含む）を示しています。
- ウ. 複数回答の質問については、その回答の構成比の合計が100%を超える場合があります。
- エ. 選択数の上限を超える回答があった場合、「無効回答」として処理しています。

○調査対象者の概要 (N=749)

A. 年齢構成

10代\* : 1.3% ( 10 人)      20代 : 10.5% (79 人)  
 30代 : 26.3% (197 人)      40代 : 25.4% (190 人)  
 50代 : 24.7% (185 人)      60代 : 9.7% ( 73 人)  
 70代 : 1.6% ( 12 人)      80代以上 : 0.4% ( 3 人)

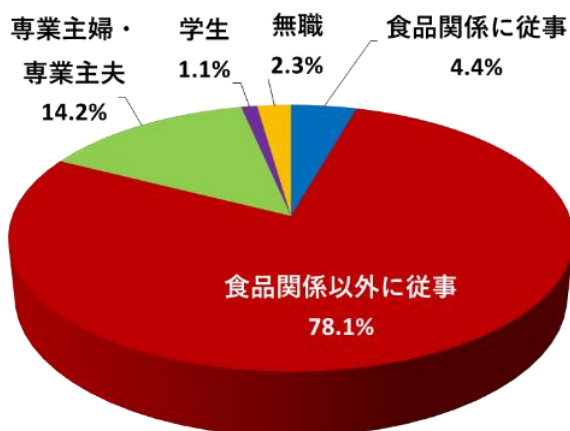
\*10代は、15歳～19歳。



B. 職業別構成

食品関係に従事\* : 4.4% (33 人)  
 食品関係以外に従事 : 78.1% (585 人)  
 専業主婦・専業主夫 : 14.2% (106 人)  
 学 生 : 1.1% ( 8 人)  
 無 職 : 2.3% (17 人)

\*採取業者、生産者、製造加工業者、  
 販売業者、外食業者



C. 地域別構成

和歌山市 : 54.6% (409 人)  
 海草地区 : 5.2% ( 39 人)  
 那賀地区 : 12.8% ( 96 人)  
 伊都地区 : 1.7% ( 13 人)  
 有田地区 : 5.7% ( 43 人)  
 日高地区 : 6.0% ( 45 人)  
 西牟婁地区 : 6.5% ( 49 人)  
 東牟婁地区 : 7.3% ( 55 人)

